



～総合健診のご案内～

～健（検）診を活用して快適な毎日を！～

＜お問合せ先＞
鏡石町健康環境課
☎ 62-2115

特定健診

鏡石町国民健康保険加入者対象のメタボ健診です！生活習慣病の発症や重症化を予防することを目的として行う健診ですので、治療中の方も受診できます。

特に40～50代の方の受診率が低い状況です。働き世代の方にとっても大切な健診ですので、毎年受診しましょう！

後期高齢者健診

後期高齢者医療加入者対象の健診です。生活習慣病の発症や重症化を予防する事を目的とした健診ですので、治療中の方も受診できます。

肝炎ウイルス検診

肝炎ウイルスに感染している場合、適切な治療をせずに放置しておくとうつ臓がんに進むことがあります。早期に感染が分かり治療すれば、病気の進行を防ぐことができます。

今まで肝炎ウイルス検診を受けていない方が対象となります。

結核検診（65歳以上）肺がん検診を含む

結核は結核菌によって主に肺に炎症を起こす病気です。早期発見できれば重症化を防ぐだけではなく、周囲への感染拡大を防ぐことができます。65歳以上の方は受診義務がありますので、ぜひ毎年受診してください。

前立腺がん検診

前立腺がんは65歳以上の方に増えています。早期の前立腺がんは自覚症状がほとんどないため、検診で早期発見することが大切です。（血液検査で調べます）



大腸がん検診

大腸がんは年々増加しており、女性のがん死亡の第1位、男性の3位となっています。＜国立がん研究センター2017年＞

食生活の欧米化や喫煙などの生活習慣により、大腸がんが増えています。

- ◎検診内容
便潜血検査
（便に血液が混じっていないか調べる検査）
- ◎精密検査
全大腸内視鏡検査、注腸検査 など



肺がん検診

肺がんは年々増加しており、男性のがん死亡の第1位、女性の2位となっています。＜国立がん研究センター2017年＞。

肺がんの最大の原因は喫煙！吸わない人でも受動喫煙で肺がんのリスクが上がります。

- ◎検診内容
胸部レントゲン検査
喀痰検査（喫煙指数が600以上の方）
- ◎精密検査
CT検査、気管支鏡検査など



胃がん検診

50代以降にかかる方が多く、男性のがん死亡の第2位、女性の4位となっています。＜国立がん研究センター2017年＞

胃粘膜内にピロリ菌感染があると胃がんのリスクが5倍以上と言われ、喫煙や塩分の取り過ぎもリスクが高まります。

- ◎検診内容
バリウム検査（集団検診・施設検診）
内視鏡検査（施設検診）
- ◎精密検査
内視鏡検査、生検など



＜がん検診について＞

- 検診をうけることで、がんによる死亡リスクが減少します。
- 検診で「要精密検査」となった時は、必ず医療機関で精密検査を受けてください。
- 検診では、がんでないのに「要精密検査」と判定される場合や、がんがあるのに見つけれない場合もあります。
- 検診は、鏡石町と検診実施機関や医療機関と連携して行います。
精密検査の結果は、精検実施医療機関から検診実施機関及び町に報告されます。
- 検診は、年1回、定期的に受けてください。ただし、気になる症状がある場合は、検診を待たずに医療機関を受診してください。



～総合健診の流れ～

～受診から健診結果がわかるまで～



★集団健診をご希望の場合★

★施設健診をご希望の場合

1. 健診封筒の到着

健診対象者（世帯主宛）へ、町から総合健診受診録・受診券（特定健診・後期高齢者健診）等が封筒で郵送されます。

- ・特定健診対象者（国保加入の方）、後期高齢者健診対象者（後期高齢者医療制度加入の方）
 - ・過去3年間で一度でもがん検診を受診された方 など
- 届かない場合は、健康環境課へお問い合わせください。（☎0248-62-2115）



2. 日程、会場の確認

本チラシの「集団健診日程・会場」をご確認ください。
ご都合に合わせて、どの日程・会場でも受診できます。

3. 受診

本チラシの「健診の受け方」の「持ち物」を確認し、ご持参ください。
健診会場にて、受付番号札を配布いたしますので、受付時間までお待ちください。
健診当日は、受ける検診項目により、順番が前後することもありますので、ご了承ください。

4. 結果

健診結果は、概ね1か月半後になりますが、結果の内容により、健診結果の返し方が異なりますので、ご了承ください。詳しくは、別添の「～健診結果の返し方と健診結果説明会について～」をご覧ください。
◎「要医療」「要精密検査」となった場合は、必ず医療機関を受診してください。

2. 予約

本チラシの「施設健診医療機関一覧」を確認し、直接医療機関へ電話等で予約してください。
大腸がん検査容器・喀痰検査容器は、予約した医療機関から配布を受けてください。
尿検査は、医療機関で検診当日採尿となります。

3. 受診

予約した日に受診してください。
本チラシの「健診の受け方」の「持ち物」を確認し、ご持参ください。

4. 結果

健診結果は、直接医療機関から説明されます。ただし、胃がん検診は、町から結果を郵送します。
◎「要医療」「要精密検査」となった場合は、必ず医療機関を受診してください。



＜健診時の注意点＞

- 特定健診・後期高齢者健診を受ける方は、前日の21時以降は絶食し、当日は絶飲食となります。
- 胃がん検診を受ける方は、前日の21時以降から絶飲食となります。
- 絶食した場合、内服薬（糖尿病薬以外）は、検査当日の早朝に少量の水で服用してください。糖尿病薬は低血糖を起す場合がありますので、服用しないでください。
- 胃がん検診（バリウム検査）・肺がん検診はレントゲン撮影のため、ボタン、カギホック等のない肌着等を着用してください。
- 大腸がん検診は、2日間の便を採取してください。採取後2週間以上経過した検体は、検査ができませんのでご注意ください。
- 生理中の方は、時期をずらしてください。
- 喀痰検査は、検査容器に3日間蓄痰してください。採取後1週間以上経過した検体は、検査ができませんのでご注意ください。

